

令和8年度から新カリキュラムがスタート

自然のなかに
心のなかに
森林もりを育てる



令和8年度

学校案内

Nagano Prefectural College of Forestry 2026



長野県林業大学校

教育方針

本校は、長野県林業の近代化を推進するため、専門的知識・技術を身につけ、農山村地域において指導的な役割を果たす技術者並びに林業後継者となる有能な人材を育成することを目的として、行学一致の総合的な教育を行います。

- 1 一般教養を高めるとともに、専門的な知識・技術を体系的に修得させ、さらに寮生活を通じて人間形成をはからせるなど指導者となるための全人教育を行う。
- 2 大学、試験研究機関との連携のもとに林業に関する技術並びに知識を習得させ、長野県林業の進むべき方向に沿った教育を行う。
- 3 実験・実習を重んじ、実践的な教育を主眼として、新時代の社会の要請に対応し得る生きた教育を行う。

入学者に求める資質

教育方針に基づく人材育成のため、次のような学生を求めます。

- 1 林業・木材産業等の技術者、指導者、後継者になろうとする意欲がある。
- 2 森林・林業に興味・関心を示し、これらの専門的知識・技術を学ぶための基礎的な学力を身に付けている。
- 3 組織の中で自らの考えを発言できるとともに、他者の考えを理解・尊重し、協調した態度をとることができる。
- 4 社会問題に関心がありボランティア活動を行うなど、社会に積極的に関わろうとしている。
- 5 各種感染症の予防対策を確実に行うなど、自己管理・健康管理ができる。

沿革

- ◆昭和53年12月1日 長野県林業大学校条例施行・開設
- ◆昭和54年 4月1日 開校
- ◆平成12年 4月1日 専修学校林業専門課程設置
- ◆平成27年 3月 新女子学生寮(若槻寮) 竣工
- ◆令和 4年 2月 新男子学生寮(翌檜寮) 竣工

募集要項

- ◆入学資格／高等学校卒業程度
- ◆修業年限／2年
- ◆定 員／1 学年 20名（推薦入学を含む）

令和7年度のオープンキャンパス実施予定

令和7年7月26日(土)・
8月24日(日)に開催予定
です。詳細は本校ホーム
ページでご案内します。

長野県林業大学校 3つの特徴

1 資格取得のメリット

即戦力につながる多くの資格取得は、
他の大学には無い大きな魅力!!

資格取得 (必要な講義を受講し、単位を取得した者)

卒業・卒業見込者に得られる資格等	対象者
専門士(林業専門課程)称号	全員
国家公務員一般職試験(大卒程度)受験資格	全員
長野県職員採用試験(大卒程度/林業職)受験資格	全員
学校教育法第83条に定める大学への編入学資格	全員
労働安全衛生規則の特別教育修了証(伐木造材)	全員
刈払機取扱作業者安全教育修了証	全員
伐木等機械・走行集材機械・簡易架線集材装置の運転業務に係る特別教育修了証	全員
森林インストラクター二次試験の一部(実技試験)免除	全員
卒業後、認定申請後に得られる資格	対象者
森林情報士2級資格	全員
樹木医補資格	全員
自然再生士補資格	全員
環境再生医初級資格	全員
2級造園施工管理技術検定の受験資格	全員
在学中に試験合格等で得られる資格	対象者
小型移動式クレーン運転技能講習修了証	全員
玉掛技能講習修了証	全員
不整地運搬車運転技能講習修了証	全員
フォークリフト運転技能講習修了証	全員
車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)運転技能講習修了証	全員
日本赤十字社救急法救急員認定証	全員
日本赤十字社救急法救急員養成講習受講証	全員
二等無人航空機操縦士技能証明資格(目視飛行)	新 全員
森林整備業務専門技術者	全員
林業架線作業主任者免許規程による講習修了書	改 スペシャリストコース
在学中に講習等で得られる資格	対象者
はい作業従事者安全教育修了証	全員
機械集材装置の運転業務に係る特別教育修了証	新 全員
ロープ高所作業特別教育修了	新 スペシャリストコース
高所作業車運転技能講習修了	新 スペシャリストコース

3 就職・編入進学へのメリット

親身で 手厚い 進路支援!!

- 林大スタッフが、学生の進路が確定するまで、親身に指導!
- 令和6年度も、年度内に全ての学生が進路を確定しています!
- 公務員及び森林組合への就職がそれぞれ約2割、民間企業への就職では素材生産や木材流通など、林大で学んだことを生かせる職場へ数多くの卒業生が就職しています。
- 平成12年度に編入資格を得た本校では、2年間しっかり勉強した後、編入試験を経て4年制大学への3年次からの編入が可能です。
※これまでの編入先: 信州大学 宇都宮大学 新潟大学 三重大学 鹿児島大学 等

入学志願者・入学者数

(令和5年度～令和7年度、人)

年度	区分	志願者	入学者
令和5年度	推薦	24	16
	一般	16	4
	計	40	20
令和6年度	推薦	20	13
	一般	12	7
	計	32	20
令和7年度	推薦	16	13
	一般	13	7
	計	29	20

2 経費のメリット

学生の皆様が、就職や進学に向けて
しっかり学べる大変経済的な環境!!
給付金や奨学金、授業料等の減免制度など
修学支援も充実

授業料等

(令和7年度)

区分	金額
授業料	年額 118,800円
入学料	5,650円
受験料	2,200円

■ その他修学経費として次の経費が必要です。

(令和7年度)

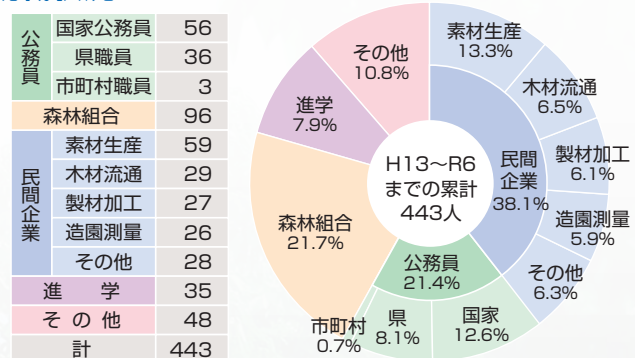
1 学年	■教科書費・研修費・教材費・給食費・寮費等 880,000円 ■実験・実習に必要な用具類の初年度購入費 約230,000円 年額 計1,110,000円
2 学年	■教科書費・研修費・教材費・給食費・寮費等 年額 計880,000円

※令和8年度のカリキュラム変更に伴い、教材費・研修費・寮費等経費は、必要な資格取得費用、光熱水費や食費などの経費増により、95万円程度と見込んでいます。なお、今後の動向によっては増減することがあります。

修学支援制度

- ◆ 林業就業促進資金(就業研修資金)(限度額月5万円・2年間で120万円・無利子)が借りられます。
- ◆ (独)日本学生支援機構、及び(公財)地域育成財団の奨学金を受けることができます。
- ◆ 林業就業支援事業給付金(100万円程度/年・2年間)の給付を受けられます。(要件あり)
- ◆ 高等教育の修学支援新制度により、扶養する子どもが3人以上の場合に授業料・入学料が減免されます。

就職状況 平成13年度～令和6年度



林業に関する幅広い業界を研修で学びます



学生寮を臨む学校全景

雄大な自然環境に囲まれた充実の施設と 自然を満喫できるキャンパスライフ!!

本施設の他、隣接地に66ヘクタールの実習林や実習フィールド等を有しており、専門知識と技能を培う恵まれた環境が用意されています。

〈概略配置図〉



化学生物教室での授業風景



実習棟での実習風景



製図室での授業風景

新たなカリキュラムが始まります

本校では、質の高い学びの機会の提供とともに、森林・林業のニーズに対応した未来のイノベーション創出人材の育成を目指して、令和8年度から新たなカリキュラムがスタートします。

新カリキュラムの特色

- 「森林と生き、森林を活かす新時代の林業人材（現場に精通し、経営や企画も将来担う人材）の育成」に向けた専門科目の再編と充実
- 進路に応じて選択するコース制の再編（マネジメントコース・スペシャリストコース）と充実
- 就業後に生かせる新たな資格取得（ドローン国家資格、高所作業車運転技能講習など）の追加

一般教養科目

	科目名	講義科目	履修年次	
			1 年	2 年
人文科学	哲学及び倫理学	哲 学		○
	心 理 学	心 理 学		○
	文 学	文 学	○	
社会科学	法 学	法 学	○	
	社 会 学	社 会 学		○
	経 済 学	経 済 学	○	
自然科学	数 学	数 学	○	
	物 理 学	物 理 学	○	
	化 学	化 学		○
	生 物 学	生 物 学	○	
	情報処理学	情報処理学	○	○
	外国語（英語）	英 語	○	○
	芸 術	彫 刻	○	
	保健体育	体 育	○	○



林業架線実習



ドローン研修



造林学実習

専門教育科目

	科目名	講義科目	履修年次		
			1 年	2 年	
共通	育林・生態	造林学 *	○	○	
		森林保護獣害対策学	○		
		山の環境学		○	
		樹木医学		○	
		樹木学	○		
		森林生態学	○	○	
		森林土壌学	○		
	森林資源管理	測樹学	○		
		林業経営学		○	
		木材商業論		○	
		森林情報論 **	○	○	
	森林土木	森林土木学 *	○	○	
		造園学 *		○	
		測量学	○	○	
	景観・保健	森林風致計画学		○	
		労働安全		○	
		救急救命	○		
	森林機械	林業機械学 **	○	○	
		林業機械学（免）	○	○	
		林業架線学Ⅰ **	○		
	林産	木材学Ⅰ	○		
		木材学Ⅱ		○	
		特用林産学	○		
森林政策	林政学 *	○			
	施業プラン **	○			
校外研修	校外研修	○	○		
体験研修	体験研修	○	○		
	自主研究	○	○		
特別講座	特別講座	○	○		
インターンシップ	インターンシップ *	○	○		
選択	マネジメント	野生鳥獣対策		○	
		治山工学		○	
		森林活用論		○	
		木材利用学		○	
		企業経営 ***		○	
		木造建築構造概論		○	
	スペシャリスト	素材生産		○	
		森林路網		○	
		高所作業 ***		○	
		林業架線学Ⅱ **		○	
			* 統合・再編科目		
			** 実習等の強化科目（資格取得含む）		
		*** 新設科目（資格取得含む）			

イベント・行事

仲間との絆を深める、 思い出の「林大生」生活の1ページ。

4月	1年生 屋久島研修
6月	2年生 国内(北海道)研修
6月	ハスクバーナトップガン研修Ⅰ
7月	1年生 御嶽登山(樹木学実習)
7月	水無神社例大祭(みこしまくり)
7月	オープンキャンパス
8月	オープンキャンパス
10月	寮祭(木望祭)
10月	木曽町駅伝大会
10月	ハスクバーナトップガン研修Ⅱ
11月	三林大対抗伐木選手権大会
2月	雪灯りの散歩路

(令和7年度計画)



2年生 国内研修(北海道:パイロットフォレスト)



1年生 屋久島研修



2年生 山の環境学(上高地)



ハスクバーナトップガン研修

寮生活・クラブ活動

大自然と、そしてかけがえのない仲間達と 24時間を共にする充実の2年間。 「林業大学校に来て良かった」と 卒業生が口を揃えるのは、「楽しい寮生活」!!

本校では、学生全員が入寮し、自主的運営による共同生活体験を通じて、有能な社会人となるための人間形成を図ります。また、地域・地元のイベントにも積極的に参加しています。



スキー教室



雪灯りの散歩路



三林大対抗伐木選手権大会

他校との交流事業

岐阜県立森林文化アカデミー、京都府立林業大学校及び信州大学と協定を締結し、交流を図っています。

木曽こども園との交流



メッセージ

そうだ！林大に行こう！



令和7年度 2年生
伊藤 千紘
(46期生)

父の影響で幼いころから山や川、森に行く機会が多く、気が付いたら自然が好きになっていました。自然の中で働きたいと思っていた私は、小学生の時に初めて林業という職があることを知って以来ずっとあこがれを持っていました。高校は普通科に進んだものの夢を諦めきれず、林業の世界へ飛び込むことを決意しました。先にも述べた通り私は普通科だったため、林業について何も知りません。そこで一から幅広い専門的な知識を学べ、卒業後も役に立つ技術の習得や資格、免許の取得ができる長野県林業大学校への入学を決めました。

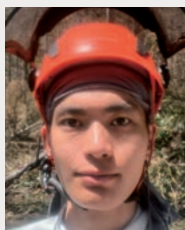
林業大学校は全寮制を取っており、入学当初はとても不安でした。しかし四六時中仲間と一緒にいるとい

う環境がむしろコミュニケーションをとる絶好の環境であり、元々人と話すのが苦手だった私を成長させてくれるきっかけとなりました。今ではなんでも言い合えるかけがえのない存在です。

授業では樹木を100種類覚えたり、泊まり込みで炭を焼いたり、チェーンソーの技術を学んだり楽しいことが盛り沢山で、充実した日々を送っています。また、1年時に行く屋久島研修では人生で1度見られるかどうかぐらいの激レア縄文杉を見ることができます。

大自然の中で学び、技術を高め、一生の友達たちと馬鹿出来る、忘れられない思い出がたくさんできる、そんな学校です。ぜひ林業を志す皆さん、楽しい学生生活を送ってみませんか？

スタートライン



令和2年度 卒業生
菅野 樹央
〈長野森林組合〉

「木曽路はすべて山の中」と言う様に、我らが林大も深い山の中にあります。豊かな自然と古き良き木造建築の建ち並ぶこの場所は、林業を学ぶに最適な場所。そう思い私は平成31年にこの学校へ入学しました。

私は現在、現場作業員として林業に従事していますが、林大で学んだ事は全て無駄では無かったと感じています。例えば、土壌学や樹木医学などの知識を用いると伐採前に立木の状態が予測できるため、それに応じた方法で安全に作業する事ができます。他にも木材の授業で学ぶ樹種毎の材の特性は伐採時に役立ちますし、木材の利用方法に関する知識は造材時にも役立ちます。またトップガン研修や実習等では実際の作業で必要となる基礎技術を身に付ける事ができます。

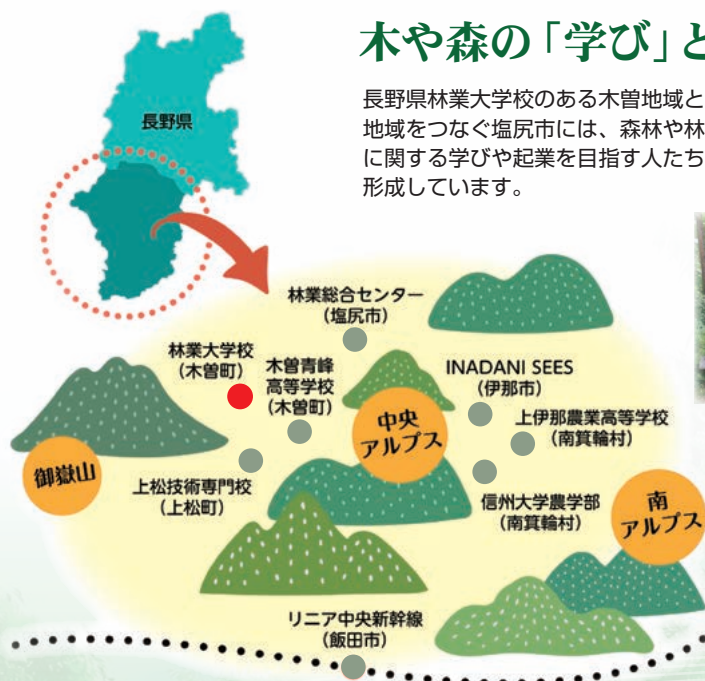
そんな様々な講義がある林大ですが、私にとって何より大事で、何より楽しかったのが二年間の寮生活です。友人と街へ遊びに行ったり、食事に行ったり、温泉巡り、ドライブ、山遊びに川遊び、林業について語り合う等々、とても貴重で濃密な時間を過ごす事ができました。今もこの時の友人や先輩と会って話す事が有りますが、皆様々な形で林業に携わっており、毎度新鮮な話を聞く事ができてとても楽しいです。

長野県林業大学校は専門的な知識・技術を学べるだけでなく、人間関係も含め充実した日々を過ごせる非常に恵まれた環境が整っている場所です。皆さんもここから素晴らしい林業ライフをスタートさせてみてください。

木曽谷・伊那谷フォレストバレー

木や森の「学び」と「暮らし」に会える場所

長野県林業大学校のある木曽地域と、中央アルプスを挟んで隣接する上伊那地域・南信州地域、そして両地域をつなぐ塩尻市には、森林や林業に関する教育機関や試験研究機関が集積していることから、木や森に関する学びや起業を目指す人たちが全国から多く集い、緩やかにつながりつつ、多様なコミュニティを形成しています。



長野県林業総合センター



信州大学農学部



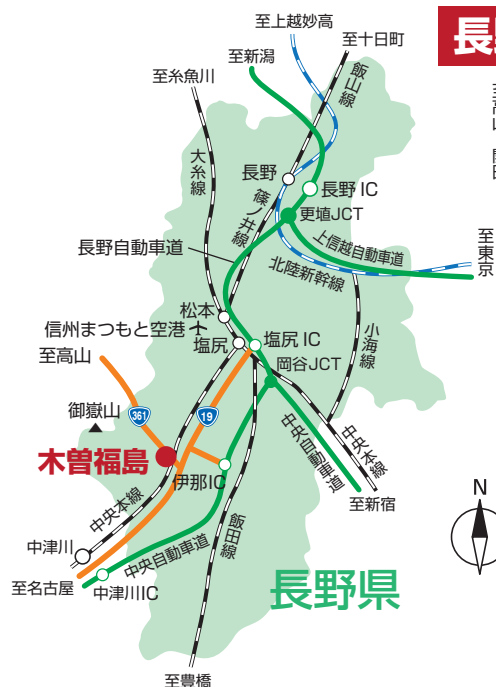
長野県上松技術専門学校



INADANI SEES

長野県では、このエリアを「木曽谷・伊那谷フォレストバレー」として、関係機関の連携による質の高い学びと交流の機会の提供を通じ、新たな時代を支える人材の育成とイノベーションの創出を目指しています。

アクセス



長野県林業大学校



御嶽山と木曽馬



黒川渡ダム



水無神社祭礼 (みこしまくり)



福島関所資料館

交通のご案内

電車の場合

- JR中央本線 木曽福島駅下車
おんたけ交通バス 開田高原線
「町民体育館前」下車 徒歩1分

自動車の場合

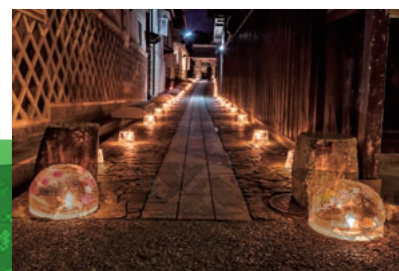
- 長野自動車道塩尻IC下車
国道19号を木曽町へ
- 中央自動車道伊那IC下車
国道361号から国道19号を経て
木曽町へ
「木曽大橋」交差点を開田・高山方面へ
右折し約1km



興禅寺



木曽福島スキー場



雪灯りの散歩路

「自然のなかに 心のなかに 森林を育てる」をモットーに 多様な現場で即戦力となる人材を育てます。



長野県林業大学校

〒397-0002 長野県木曽郡木曽町新開4385-1
TEL.0264-23-2321 FAX.0264-21-1058
<https://www.pref.nagano.lg.jp/ringyodai/index.html>
E-mail: ringyodai@pref.nagano.lg.jp

長野県林業大学校
公式ホームページ

長野県林業大学校
公式Facebook

長野県林業大学校
公式Instagram



しあわせ信州

一人ひとりの学びたいを叶える